

社会医学会レター

(2023-1号 2023年7月15日発行)

会員皆様のご参加をお待ちしています

第64回日本社会医学会総会
大会長 扇原 淳
(早稲田大学人間科学学術院 教授)

日本社会医学会会員の皆様、第64回日本社会医学会総会の開催が迫ってまいりました。今大会は、「次世代のための社会医学」をテーマに早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)を会場として開催いたします。大会事務一同、会員皆様のお越しをお待ちしております。

さて、現代社会は、多くの課題を抱えています。少子高齢化、貧困・格差、孤立・孤独、気候変動などの多くの要因が人々の健康に大きな影響を与えています。より健康でより豊かな社会を次世代につなぐために、我々社会医学会として、研究、教育、実践の観点から、これらの課題に取り組む必要があることは言うまでもありません。

第64回大会では、次世代の社会医学を推進するための最新の知見や実践の共有を目指します。森岡正博氏による基調講演「生まれてこないほうが良かった」という思想に惹かれる若者たち、をはじめとして、教育講演、市民公開講座、ワークショップなどを企画しています。また、若手研究者や実践家の活躍の場、交流の場として、従来の研究発表に加えて、高校生・大学生ポスターセッション、次世代委員会主催によるラウンドテーブルディスカッションなど、これまでにない新しい試みも予定しています。さらに、編集委員会企画「査読者の側からみた研究デザインや統計のポイント」(中村好一氏)など、社会医学の未来を担う若

手研究者の成長を支援する企画も準備しています。

当然ですが、社会医学の発展には、学際的な連携や国際的な交流も不可欠です。今大会では、Fabien Parise氏による教育講演や日韓国際共同シンポジウム「我が国より韓国へ伝承された送気式潜水漁の社会的・医学的問題点」も企画しています。

辻内琢也氏による教育講演「戦後最大の日本における国内避難民(IDPs)の現状と課題- PTSD 調査と国内強制移動に関する指導原則」や市民公開シンポジウム「マイノリティ化される現代の若者達との対話から学ぶ- 共生社会医学の提案」、市民公開ワークショップ「社会医学とコミュニティデザイン- ステイホームダイアリーによる社会的処方の実践」、市民公開ワークショップ「障害を持つ人たちと共生するために今できていること」など、大会を通じて、社会的な公平性、持続可能性、包摂性を追求する社会の実現に向けた議論の場を用意し、次世代の社会を見据えた新たな展望やアクションの共有によって、健康で包摂的な社会の構築につながることを願っています。

最後になりますが、今大会が次世代の新たな視点や希望を醸成し、社会医学の進歩と次世代への豊かな社会の構築・継承に繋がることを期待しながら、会員皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日本社会医学会
学会事務局 久留米大学医学部 環境医学講座内
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67
学会ホームページ: <http://jssm.umin.jp/>
運営事務局 合同会社ソーテリア(藤本容子)
〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEXT & FAX: 043-226-2979
E-mail: jssm@soteria.cc

学会へのお問い合わせは上記運営事務局までお願いします。

学会プログラム

7月29日(土)

- **【基調講演】** 13:00~14:30 井深大記念ホール
タイトル:「生まれてこないほうが良かった」という思想に惹かれる若者たち
演 者: 森岡正博氏, 早稲田大学人間科学学術院教授
専 門: 生命の哲学, 倫理学
業 績: 『無痛文明論』 『宗教なき時代を生きるために』 『生まれてこないほうが良かったのか?』 等
- **【教育講演(1)】** 15:00~16:30 井深大記念ホール
職場での健康, 予防, 学際的分野~フランスの産業保健制度の歴史と変遷~ *言語: フランス語(通訳あり)
演者: Fabien Parise氏
Directeur - Adjoint Santé Travail - Appui Managérial Réseau Est - Pôle Qualité, Direction Santé Travail (DST) - Direction d'Appui Managérial (DAM)
座長: 森松嘉孝氏, 久留米大学医学部環境医学講座准教授
- **【日本社会医学会次世代委員会企画】** 15:00~16:30 第三会議室
*事前登録制 ([参加登録フォーム](#)), ポスターダウンロードは[こちら](#)
タイトル: SDGsの光と影
目 的: 小・中学校・高校でも学習が進められているSDGsについて、社会医学の視点からその功罪を提示し、SDGsの理想と社会医学の役割・展望について参加者全員で議論を深め、次代を担う若い参加者たちの明日への希望を育む。
問題提起: 小橋元氏 日本社会医学会理事・獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授
ラウンドテーブルディスカッション(参加者募集中, 対象: 高校生, 大学生)
*参加証授与, 表彰予定
*人数多数の場合は抽選となります
- **【市民公開シンポジウム(1)】** 13:00~14:30 第一会議室
タイトル: ある日の子ども食堂—誰も取りこぼさない地域を、子ども食堂から—
司 会: 岩垣穂大氏, 金城学院大学講師
パネラー: 山角直史氏, 松原祥氏, 六鹿篤美氏(認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ)他
- **【市民公開シンポジウム(2)】** 15:30~16:40 第一会議室
タイトル: 「障害を持つ人たちと共生するために今できていること」
司 会: 土谷朋子氏, 文京学院大学保健医療技術学部准教授
パネラー:
 1. 障害のある作家との共助で成り立つ企業が目指す共生社会
橋本梓龍 氏 (株式会社ヘラルボニー)
 2. 社の共生の取り組み<社員および親としての視点から>
加藤修一 氏 (株式会社東京ドームウィズ)
 3. 社の取り組み<企業側の視点から>
大濱 徹 氏 (パーソルダイバース株式会社)
 4. エンターテインメント界における共生の取り組み
安田龍生 氏 (俳優)
 5. インクルーシブ教育の取り組み
大和俊広 氏 (藤沢市立小学校教諭)
- **【研究発表】** 9:45~11:30
- **【理事会】** 11:45~12:45
- **【評議員会】** 17:00~18:00

7月30日(日)

- **【編集委員会企画】** 11:00~12:00 井深大記念ホール
タイトル：査読者の側からみた研究デザインや統計のポイント
演 者：中村好一氏, 宇都宮市保健所

- **【市民公開講座】** 9:45~10:45 井深大記念ホール
タイトル：地域共生社会の形成・実現に向けた多主体協働活動の実践
演 者：宮崎進一氏, 一般社団法人全国地域生活支援機構 理事

- **【教育講演(2)】** 13:15~14:15 井深大記念ホール
タイトル：戦後最大の日本における国内避難民(IDPs)の現状と課題
—PTSD調査と国内強制移動に関する指導原則
演 者：辻内琢也氏, 早稲田大学人間科学学術院教授

- **【市民公開シンポジウム(3)】** 14:30~16:00 井深大記念ホール
タイトル：マイノリティ化される現代の若者達との対話から学ぶ—共生社会医学の提案
司 会：辻内琢也氏, 早稲田大学人間科学学術院教授
パネラー：
 1. 原発事故被災当事者の若者達との対話から
平田修三氏, 仙台青葉短期大学准教授
 2. LGBTQ当事者の若者達との対話から
金 智慧氏, 早稲田大学次席研究員
 3. 夜回りで出会う若者達との対話から
田中 勤氏, 総合病院南生協病院 産婦人科医師
 4. 社会的養護当事者の若者達との対話から
高石啓人氏, 日本大学助教

- **【市民公開ワークショップ】** 13:15~16:15 第三会議室
■ *事前登録制(定員30人), 無料, [参加登録フォーム](#)はこちら
タイトル：社会医学とコミュニティデザイン—ステイホームダイアリーによる社会的処方の実践—
司 会：岩垣穂大氏, 金城学院大学講師
パネラー：西上ありさ氏(株式会社studio-L)
出野紀子氏(株式会社studio-L)

- **【日韓共同シンポジウム】** 13:15~15:15 第一会議室
タイトル：我が国より韓国へ伝承された送気式潜水漁の社会的・医学的問題点
座 長：石竹達也氏, 久留米大学医学部環境医学講座教授
パネラー：
 1. 日本のヘルメット潜水漁の歴史, 磯本宏紀氏, 徳島県立博物館専門学芸員
 2. 韓国の送気式潜水漁の歴史 ~その光と影~, オ・チャンヒョン氏, 大韓民国国立木浦大学校准教授
 3. 我が国の送気式潜水漁における医学的問題の現状, 森松嘉孝氏, 久留米大学医学部環境医学講座准教授コメンテーター：松田陸彦氏, 国立歴史民俗博物館准教授

- **【高校生・大学生ポスターセッション】** *事前登録制
目的：生徒・学生主体の公募制ポスターセッション。人々の暮らしと健康, 医療, 福祉に関心を持つ次世代間の交流促進と学会員との学術交流。
*表彰制度あり
*設置：7月29日, コアタイム：7月30日

- **【研究発表】** 9:30~10:45

- **【総会】** 12:30~13:00 井深大記念ホール

市民公開講座

7月29日(土)

- **【市民公開シンポジウム(1)】** 13:00~14:30 第一会議室
テーマ: ある日の子ども食堂—誰も取りこぼさない地域を、子ども食堂から—
司会: 岩垣穂大氏, 金城学院大学講師
パネラー: 山角直史氏, 松原祥氏, 六鹿篤美氏(認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ)他

- **【市民公開シンポジウム(2)】** 15:30~16:30 第一会議室
タイトル: 「障害を持つ人たちと共生するために今できていること」
司会: 土谷朋子氏, 文京学院大学保健医療技術学部准教授
 1. 障害のある作家との共助で成り立つ企業が目指す共生社会
橋本梓龍 氏 (株式会社ヘラルボニー)
 2. 社の共生の取り組み<社員および親としての視点から>
加藤修一 氏 (株式会社東京ドームウイズ)
 3. 社の取り組み<企業側の視点から>
大濱 徹 氏 (パーソルダイバース株式会社)
 4. エンターテインメント界における共生の取り組み
安田龍生 氏 (俳優)
 5. インクルーシブ教育の取り組み
大和俊広 氏 (藤沢市立小学校教諭)

7月30日(日)

- **【市民公開講座】** 9:45~10:45 井深大記念ホール
タイトル: 地域共生社会の形成・実現に向けた多主体協働活動の実践
演者: 宮崎進一氏, 一般社団法人全国地域生活支援機構 理事

- **【市民公開シンポジウム(3)】** 14:30~16:00 井深大記念ホール
「マイノリティ化される現代の若者達との対話から学ぶ—共生社会医学の提案」
司会: 辻内琢也氏, 早稲田大学人間科学学術院教授
 1. 原発事故被災当事者の若者達との対話から
平田修三氏, 仙台青葉短期大学准教授
 2. LGBTQ当事者の若者達との対話から
金 智慧氏, 早稲田大学次席研究員
 3. 夜回りで出会う若者達との対話から
田中 勤氏, 総合病院南生協病院 産婦人科医師
 4. 社会的養護当事者の若者達との対話から
高石啓人氏, 日本大学助教

- **【市民公開ワークショップ】** 13:15~16:15 第三会議室
- *事前登録制(定員30人), 無料, [参加登録フォーム](#)はこちら
テーマ: 社会医学とコミュニティデザイン—ステイホームダイアリーによる社会的処方の実践—
司会進行: 岩垣穂大氏, 金城学院大学講師
登壇者: 西上ありさ氏(株式会社studio-L)
出野紀子氏(株式会社studio-L)